

【 短 歌 。 俳 句 。 川 柳 】

本誌編集室担当

短 歌

五年ぶり病の友が電話くれ
掠れる声に心ふるえる

●印西市 山田 明

歛振るう我の手元を狂わせる

秋風に舞ふ蜻蛉の群れが

●東京都神津島村 石田希代子

おとそ食む朝餉に祝い夫婦箸

贈れし子等と喜寿の初春

●平塚市 田中博由

ものいえぬ妻の心を思いつつ

あの懐かしき思いで浮かぶ

●四日市市 河合 勲

猿田彦道案内に烏帽子付け

立ち振る舞いのぎこちなさあれ

●綾部市 岩瀧憲一

かの人が心暖か思いやり

胸熱きかな秋吹く風よ

●愛媛県鬼北町 岸本繁義

秋風や川面にゆらり対の鳥

●門真市 藤岡春男

俳 句

鉄砲百合八方向ひて嘖し

●むつ市 一戸啓二

穂高山笹原深く歩む秋

●神栖市 安澤宏介

黄金の舞い銀杏並木は一点透視

●小山市 塚野 京

竹林の闇をふるはす虫時雨

●本庄市 入 利雄

暮れ時のもの淋しきよ冷たさよ

●本庄市 長谷川千鶴子

秋深し二軒先まで落葉掃く

●草加市 長谷部禎子

西の市曇る眼鏡の終電車

●戸田市 篠崎志津子

劇なかば子供とびだす聖夜なり

●戸田市 高橋近代

ひこばえが早苗に見える千枚田

●朝霞市 林 則雄

天高く目出度めでたの喜寿傘寿

●武蔵村山市 原野晴光

妻は留守月に兔の独り酒

●塩尻市 大家協治

つぶやける一語路地裏秋海棠

●塩尻市 奥原光夫

菊小鉢小坂田ドーム子ども舞う

●塩尻市 小野正平

古川寺の鐘の音響く秋の空

●塩尻市 清澤美恵子

湧水の絶えて水場のもんしろ蝶

●塩尻市 町田まさ子

秋晴れやマルシェ賑わう芝広場

●西尾市 村井ひろみ

秋晴れや心も晴らすこむらさき

●木津川市 岡嶋眞澄

秋の装いと洒落て出かける病院へ

●佐世保市 岩倉美知子

道で会い挨拶するけど名前出さず

●石巻市 亀山伸一